

利用のための PC 環境設定

電子入札に参加するためには、下記のハードウェア、ソフトウェアが必要です。ご準備をお願いします。

(1)ハードウェア要件

パソコン本体の性能及び環境に関する要件を示します。

項目	要件
パソコン	Windows パソコン
CPU	2 つ以上のコアで 1Ghz 以上
メモリ	最低 4GB (8GB 以上を推奨)
ハードディスク	1 ドライブの空き容量が、1GB 以上
ディスプレイ	1,024 × 768 ピクセル(XGA)以上の解像度
インターフェース	IC カードリーダを接続するための USB ポート 1 つ以上
IC カードリーダ	ご利用になる電子入札コアシステム対応認証局が指定しているもの

(2)ソフトウェア

項目	要件
OS(基本ソフト)	Windows11 Home/Pro (64bit 版)*1
ブラウザ	Microsoft Edge(Chromium 版)(バージョン 89 以上) *2 Google Chrome(バージョン 89 以上) *3
電子入札システム 関連ソフト	電子入札コアシステム対応認証局より提供されます。
.NET Framework	.NET Framework 4.6.2 以上*4

*1: OS(Windows)については、マイクロソフト社がサポートを提供している OS 製品及び OS バージョンに限る。
なお、OS 製品のうち、最も一般的な製品およびエディションを動作確認対象とする。以下の OS 製品やエディションなどについては動作確認対象には含まない。

【動作確認対象に含まれない OS 製品・エディションの例】

Windows 10 LTSC /LTSC(長期サポート版)、Windows 11 Enterprise、Windows 11 Pro for Workstations

*2: Edge(Chromium)は、バージョン 89 以降でマイクロソフト社のサポートが存在するものに限る。

また、IE モードは動作確認対象に含まない。

*3: Chrome は、バージョン 89 以降で Google 社のサポートが存在するものに限る。

*4: .NET Framework は、4.6.2 以降でマイクロソフト社のサポートが存在するバージョンに限る。

(3)インターネット回線

項目	要件
回線	インターネットに接続できる環境であること
電子メール	電子メールが送受信できる環境であること
プロトコル	下記のプロトコルによる通信が可能なこと ・HTTP:Hyper Text Transfer Protocol ・HTTPS:Hyper Text Transfer Protocol Security ・LDAP:Lightweight Directory Access Protocol

(4) その他

その他、次の事項にご留意ください。

- ・使用する Windows ユーザ名やドメイン名は、2バイト文字(全角文字)を使用しないでください。
- ・ご利用の認証局により、ハードウェアの要件に DVD-ROM が必要な場合があります。
認証局にご確認をお願いします。
- ・電子入札システムを使用する際は、**次ページ以降のブラウザの設定**を必ず行ってください。
ブラウザの設定はご利用になるブラウザによって設定方法が変わりますので、ご注意ください。
設定を行わない場合、電子入札システムに接続できない等の不具合が起こる可能性があります。
パソコンを利用するユーザが複数ある場合は、ユーザ毎に同じ設定を行ってください。

ブラウザの設定

電子入札システムを使用する際は、下記の設定を必ず行ってください。設定を行わない場合、添付資料がダウンロードできない、画面表示が崩れる、電子入札システムに接続できない等の不具合が起こる可能性があります。

【Microsoft Edge の設定】

Microsoft Edge (Chromium 版)で電子入札システムを利用する前(複数の電子入札システムを利用する予定がある場合は、いずれか1つの電子入札システムを利用する前)に、以下の「キャッシュクリア」と「ポップアップ許可の登録」を行ってください。

これらの操作は、初回利用時には必ず実施してください。

なお、電子入札システムの操作で不具合が発生した場合、再度これらの操作を行うことで改善されることがあります。

キャッシュクリア

以下の手順で実施してください。

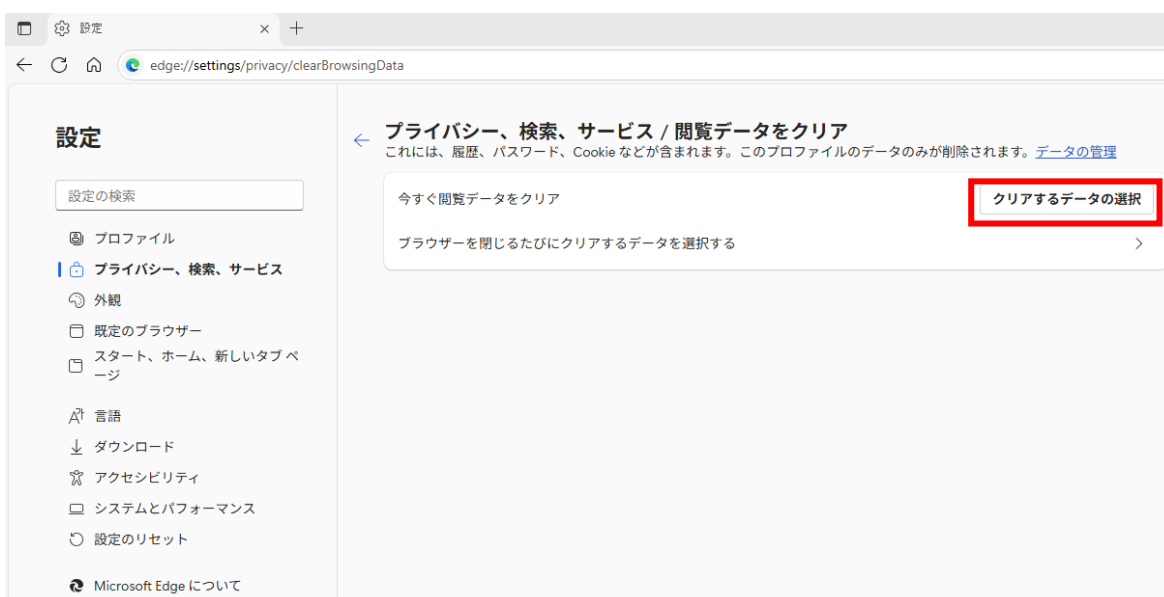
- (1) Microsoft Edge を起動し、ウィンドウ右上の「×」のすぐ下にある「…」をクリックし、表示されたメニューの「設定」をクリックします。



(2) 左側のメニューにある「プライバシー、検索、サービス」をクリックし、表示された画面の「閲覧データをクリア」をクリックします。



(3) 表示された画面の「クリアするデータを選択」をクリックします。

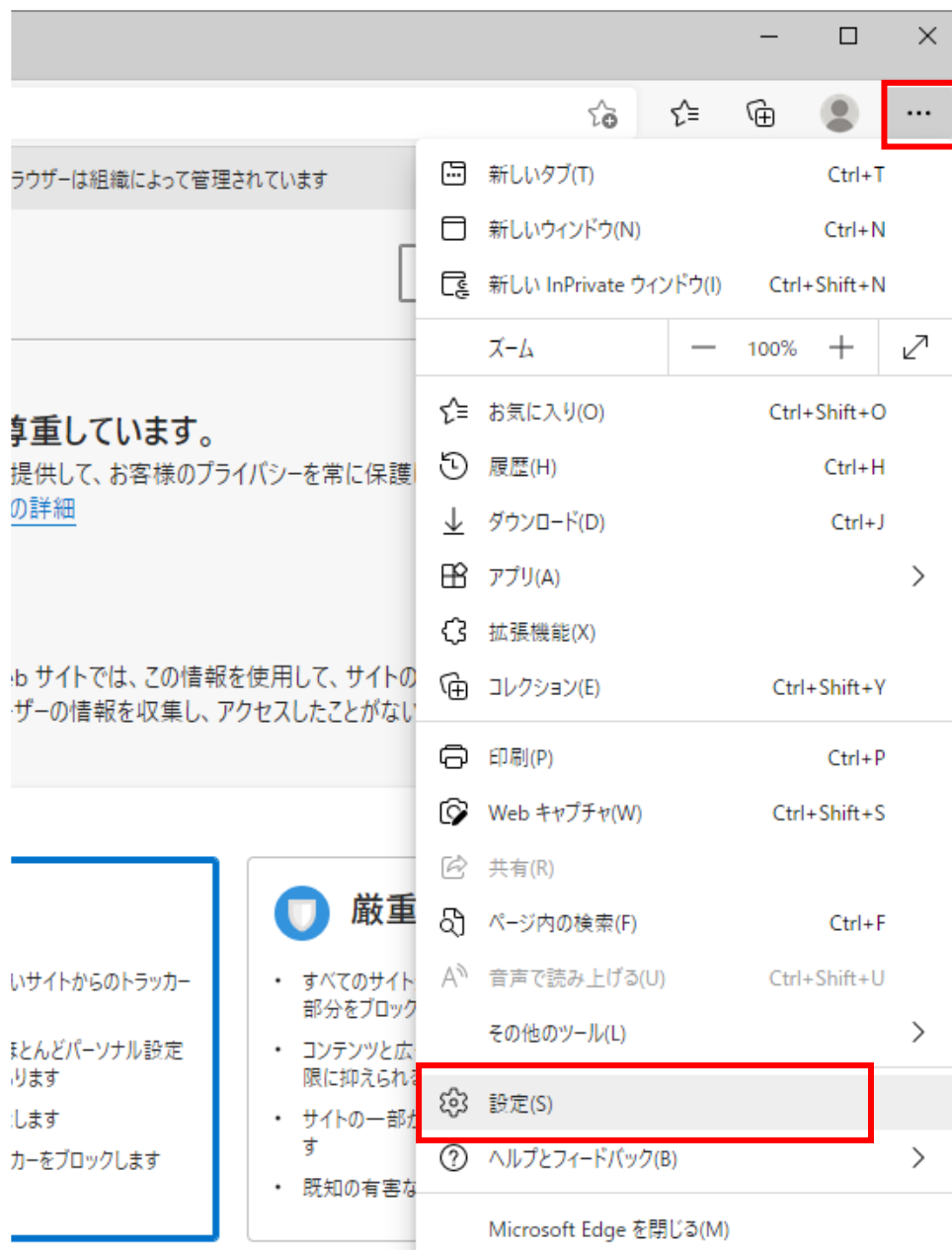


(4)「Cookie およびその他のサイト データ」と「キャッシュされた画像とファイル」のチェックボックスをチェック☑してから、「今すぐクリア」をクリックします。



ポップアップ許可の登録

(1) Microsoft Edge を起動し、ウィンドウ右上の「×」のすぐ下にある「…」をクリックし、表示されたメニューの「設定」をクリックします。



(2)画面左側のメニューの「プライバシー、検索、サービス」をクリックして、表示された画面の「サイトのアクセス許可」をクリックします。



(3)表示された画面の「すべてのアクセス許可」をクリックします。



(4)表示された画面の「ポップアップとリダイレクト」をクリックします。



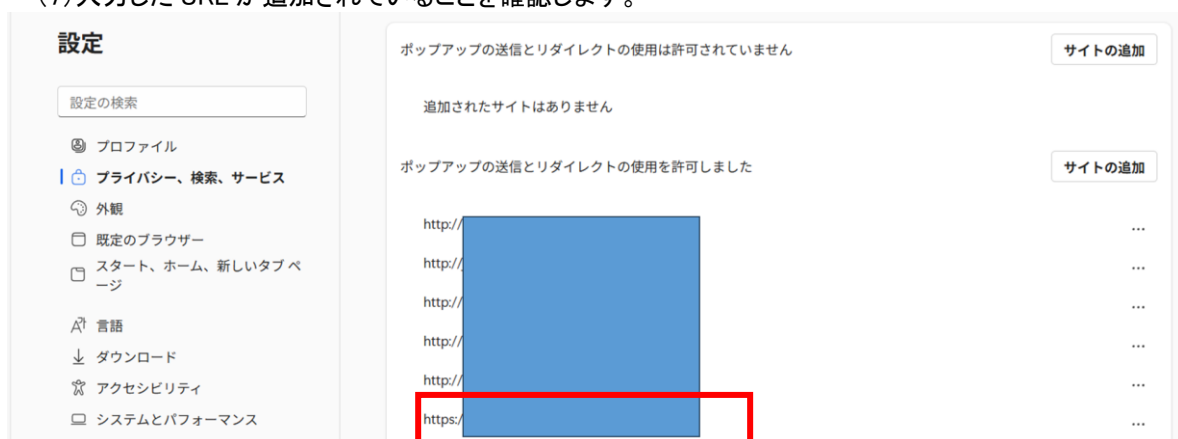
(5)「ポップアップの送信とリダイレクトの使用を許可しました」の「サイトの追加」をクリックします。



- (6) 利用する電子入札システムの URL を入力し、「追加」ボタンをクリックします。
<https://www.ebs-cloud.fwd.ne.jp> （電子入札のみ使用する場合はこちらのみ）
<https://www.epi-cloud.fwd.ne.jp>



- (7) 入力した URL が追加されていることを確認します。



Microsoft Edge の設定は以上です。

【Google Chrome の設定】

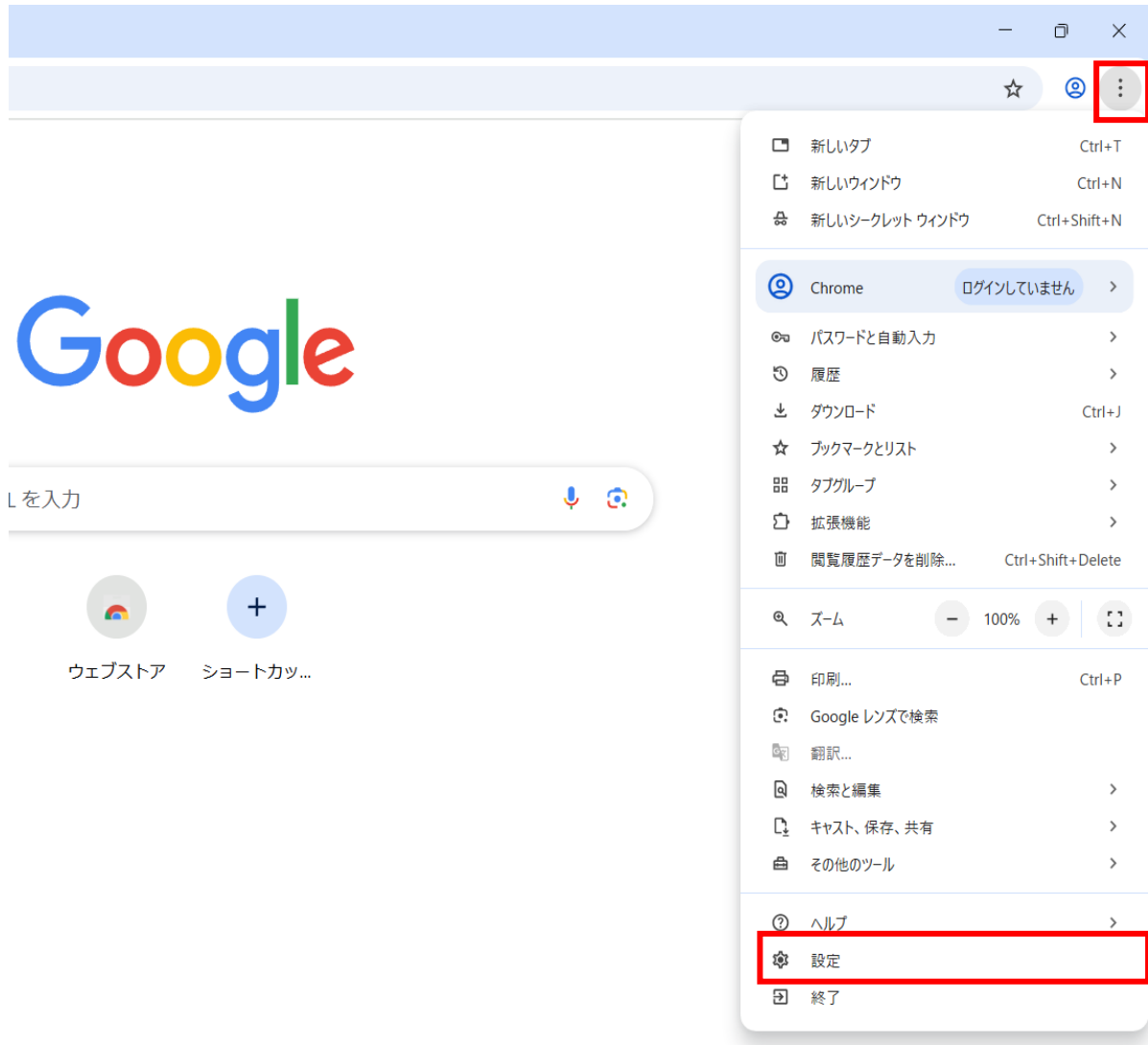
Google Chrome で電子入札システムを利用する前(複数の電子入札システムを利用する予定がある場合は、いずれか1つの電子入札システムを利用する前)に、以下の「キャッシュクリア」と「ポップアップ許可の登録」を行ってください。

これらの操作は、初回利用時には必ず実施してください。

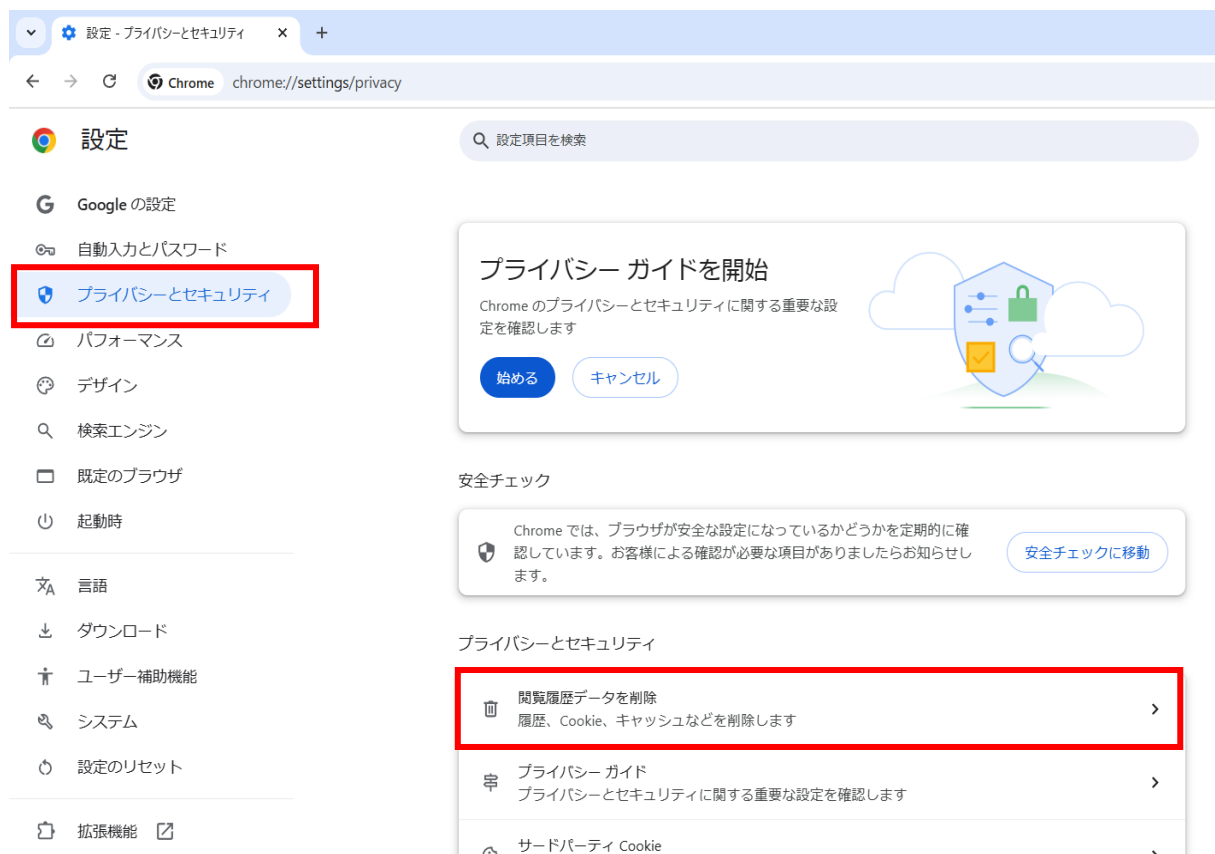
なお、電子入札システムの操作で不具合が発生した場合、再度これらの操作を行うことで改善されることがあります。

キャッシュクリア

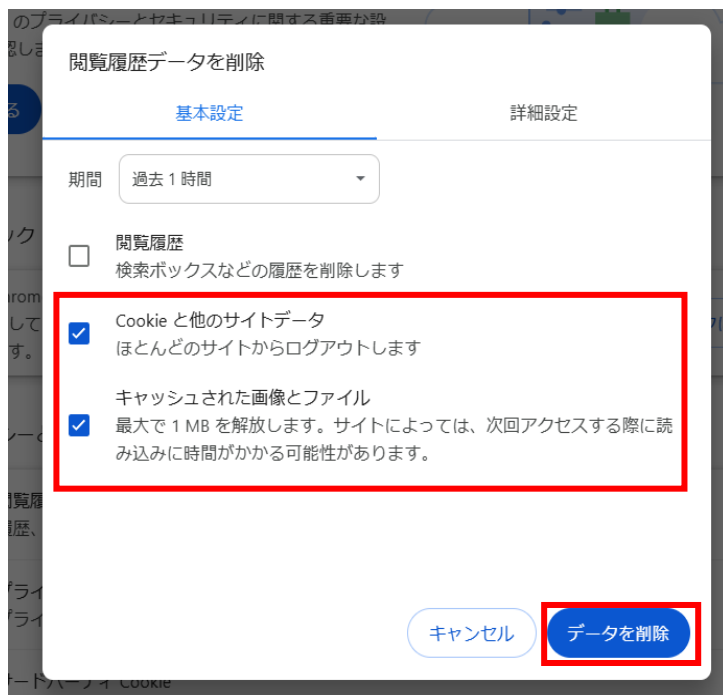
(1) Google Chrome のウィンドウ右上の「×」のすぐ下にある「…」をクリックして、表示されたメニューから「設定」をクリックします。



(2) 画面左側のメニューの「プライバシーとセキュリティ」をクリックして、表示された画面の「閲覧履歴データを削除」をクリックします。

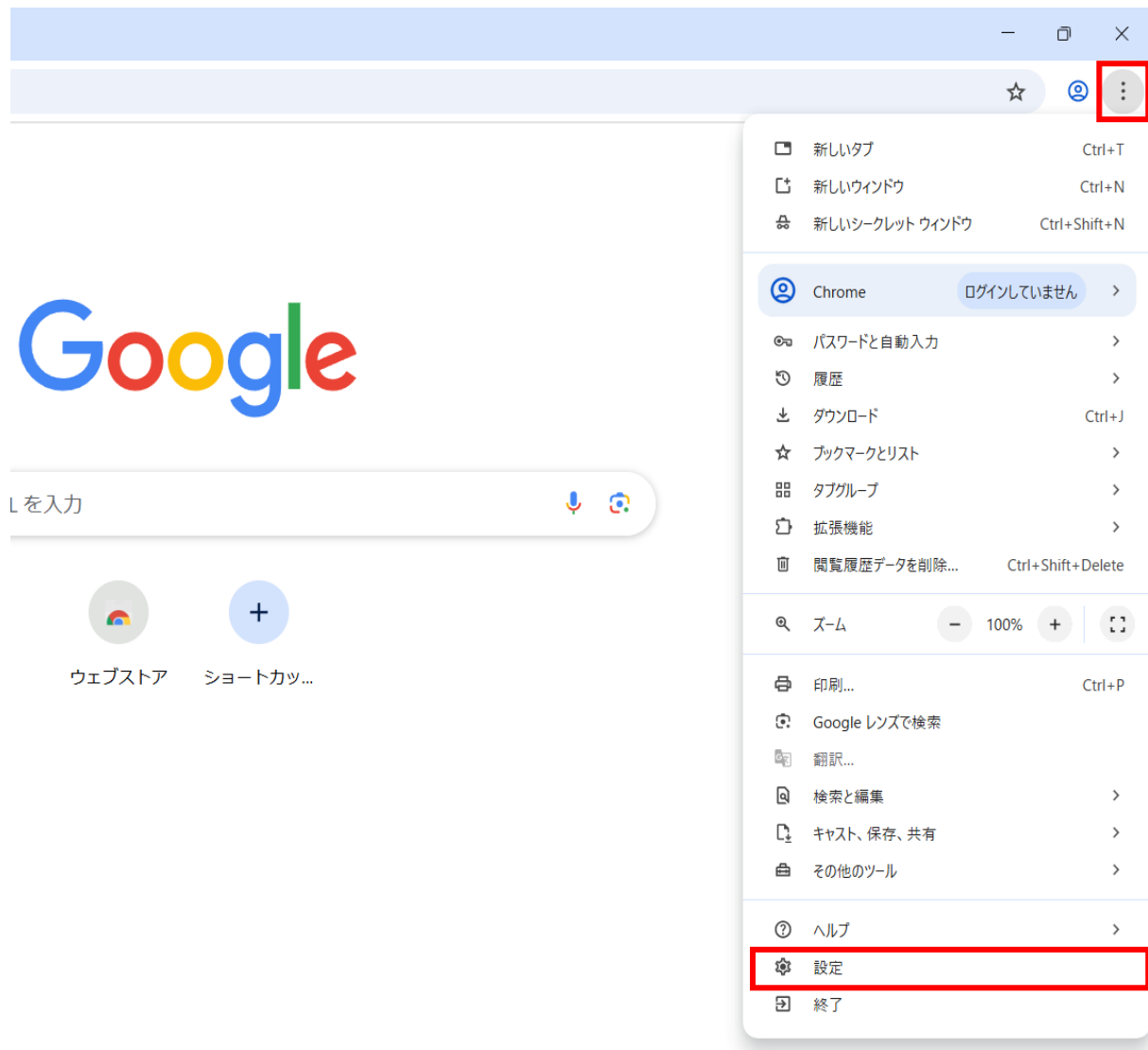


(3) 「Cookie と他のサイトデータ」と「キャッシュされた画像とファイル」のチェックボックスをチェック☑してから、「データを削除」をクリックします。



ポップアップ許可の登録

(1) Google Chrome のウィンドウ右上の「×」のすぐ下にある「…」をクリックして、表示されたメニューから「設定」をクリックします。



(2) 画面左側のメニューの「プライバシーとセキュリティ」をクリックして、表示された一覧から「サイトの設定」をクリックします。

設定 - プライバシーとセキュリティ

chrome://settings/privacy

設定

設定項目を検索

- Google の設定
- 自動入力とパスワード
- プライバシーとセキュリティ**
- パフォーマンス
- デザイン
- 検索エンジン
- 既定のブラウザ
- 起動時

- 言語
- ダウンロード
- ユーザー補助機能
- システム
- 設定のリセット

- 拡張機能
- Chrome について

プライバシー ガイドを開始

Chrome のプライバシーとセキュリティに関する重要な設定を確認します

[始める](#) [キャンセル](#)

安全チェック

Chrome では、ブラウザが安全な設定になっているかどうかを定期的に確認しています。お客様による確認が必要な項目がありましたらお知らせします。

[安全チェックに移動](#)

プライバシーとセキュリティ

- 閲覧履歴データを削除
履歴、Cookie、キャッシュなどを削除します
- プライバシー ガイド
プライバシーとセキュリティに関する重要な設定を確認します
- サードパーティ Cookie
サードパーティの Cookie が許可されています
- 広告プライバシー
ウェブサイトが広告表示に使用する情報をカスタマイズします
- セキュリティ
セーフ ブラウジング（危険なサイトからの保護機能）などのセキュリティ設定
- サイトの設定**
サイトが使用、表示できる情報（位置情報、カメラ、ポップアップなど）を制御します

(3)表示された画面の「ポップアップとリダイレクト」をクリックします。

Chrome 設定 - サイトの設定 chrome://settings/content

設定

Google の設定

自動入力とパスワード

プライバシーとセキュリティ

パフォーマンス

デザイン

検索エンジン

既定のブラウザ

起動時

言語

ダウンロード

ユーザー補助機能

システム

設定のリセット

拡張機能

Chrome について

権限

位置情報
位置情報へのアクセス権限がサイトからリクエストされる場合があります

カメラ
サイトがカメラの使用を要求できるようにする

マイク
サイトがマイクの使用を要求できるようにする

通知
不要なリクエストを閉じる (推奨)

埋め込みコンテンツ
サイトがあなたに関する保存済みの情報の使用を要求できるようにする

その他の権限

コンテンツ

サードパーティ Cookie
サードパーティの Cookie が許可されています

JavaScript
サイトが JavaScript を使用できるようにする

画像
サイトが画像を表示できるようにする

ポップアップとリダイレクト
サイトにポップアップの送信やリダイレクトの使用を許可しない

(4)「ポップアップの送信やリダイレクトの使用を許可するサイト」欄の右にある「追加」をクリックします。



(5) 利用する電子入札システムの URL を入力し、「追加」ボタンをクリックします。

<https://www.ebs-cloud.fwd.ne.jp> (電子入札のみ使用する場合はこちらのみ)
<https://www.epi-cloud.fwd.ne.jp>



(6) 入力した URL が追加されていることを確認します。

The screenshot shows the Google Chrome settings page for 'Pop-ups and Redirects'. The left sidebar contains various settings categories, with 'Privacy and Security' highlighted. The main content area shows the 'Pop-ups and Redirects' settings. The 'Default behavior' section indicates that pop-ups and redirects are blocked by default. The 'Customize actions' section shows that the default settings are used. The 'Sites that don't allow pop-ups and redirects' section is empty, and the 'Sites that allow pop-ups and redirects' section shows a list of sites. A red box highlights a URL being added to the list of sites that allow pop-ups and redirects.

設定 - ポップアップとリダイレクト

Chrome chrome://settings/content/popups

設定

ポップアップとリダイレクト

ポップアップを送信して広告を表示したり、リダイレクトを使ってユーザーがアクセスするつもりのないウェブサイトを表示したりするサイトもあります

デフォルトの動作

サイトにアクセスしたときにこの設定の動作を自動的に行います

☐ サイトがポップアップを送信したりリダイレクトを使用したりできるようにする

☒ サイトにポップアップの送信やリダイレクトの使用を許可しない

動作のカスタマイズ

次のサイトでは、デフォルトではなくカスタムの設定が使用されます

ポップアップの送信やリダイレクトの使用を許可しないサイト

追加

サイトが追加されていません

ポップアップの送信やリダイレクトの使用を許可するサイト

追加

https://

Google Chrome の設定は以上です。

使用フォントに関する設定方法

電子入札システムでは JIS2004 フォントパッケージを使用することが出来ません。以下の手順にて、フォントの設定を行ってください。

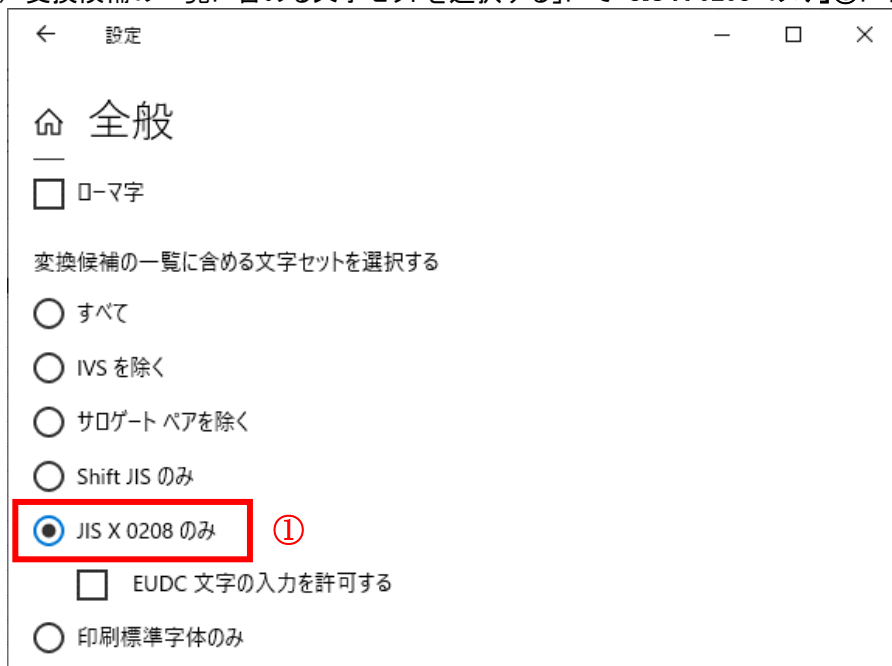
1. Windows11 をご利用の方

(1) ツールバーに表示される「A」や「あ」を右クリックし、「設定」①を選択します。

(2) Microsoft IME の設定画面より、「全般」①をクリックします。



(3) 「変換候補の一覧に含める文字セットを選択する」にて「JIS X 0208 のみ」①にチェックをします。



フォントの設定は以上です。